

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		にじいろプラス（児童発達支援）				公表日	2026年 3月 2日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	運動スペース、学習スペースと個室2部屋あること		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	2	階段を昇り、2階に上がらないといけないため、バリアフリー化はできていない。職員間での情報共有はできていると思う		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	1	換気、空調の掃除など行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	個室の部屋が2つある 個室や学習スペースなど他にも部屋はあるため、必要に応じて使用することはできている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	1	3	職員一人ひとりがしているかと言われると、分らないが少なくとも自分ではあまりできていない方だと思う スタッフ会議、ケース会議、日々の朝礼、終礼等で行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	アンケートを実施して改善へ向けて取り組んでいる。 保護者向け評価表の読み合わせ、その現場間での共有はできていない		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	職員会議の場を設け、子ども達について意見を設ける場はできている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3	他の事業所より応援を要請し、業務改善の場は設けられている		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	ジョブアカデミーによる月の研修、外部からの研修を受けている。 他の事業所から応援を要請し、研修受講することができている。		
適切な支援の提...	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	1	児発管や一部の職員間でしか共有がされていない		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3	1	半年ごとにアセスメントをとっている 児発管や一部の職員間でしか共有がされていないため、現場の職員は分かっていない		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	事例検討会を実施している 日々の記録、ケース会議や日常の終礼などにより共通理解を図って作成している		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	2	児発管や一部の職員間でしか共有がされていないため、計画に沿った支援は行えていない ケース会議や朝礼や終礼などで話題として上げている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1	児発管や一部の職員間でしか共有がされていないため、アセスメントを使用することもできていない		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1	制作や運動遊びなどその日、どのようにしたら子ども達が楽しんで帰ってくれるかを職員間で共有して業務に入るようにしている		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	1	AとBに分かれて行っている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	個別活動、集団活動は子どもたちの人数や状況に応じて適宜取り入れるようにしている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	朝礼の際に職員間での共有の場を設け、チームで連携して支援を行うような話し合いの場がある	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	休憩終了時、終礼の際、職員間での共有の場を設け、その日の振り返り、気づき等を発言する場がある	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	1	まだ支援の検証、改善にまでは至っていない。今後検討の余地あり	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	1	きちんと現場の状況が分かっている職員に行ってもらい、その場でメモを問ったり、写真を撮ったりしてもらい、職員が戻った後、きちんと現場内に共有できている	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0		
	26	併用利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。またその際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小等部)との間で、情報共有と相互理解に努めているか。	4	0	年長児から小学校、特別支援に移行される際、きちんと情報提供されている	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加されているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	2	スーパーバイズや必要に応じての助言等受けれていない	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	4	今後の課題		
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	短時間ではあるが、送迎時に伝えていることが多い。連絡帳を用いながらではあるが、きちんと子どもの発達や状況、課題について共有できている。日ごろから保護者様との状況を直接はできていない		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2	必要に応じて、ペアトレーニングの研修の案内は行っている(要望があれば)ペアトレ等保護者様を呼んでということではできていない		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	主に契約時に実施		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	1	あまり子どもや家族の意向を確認する機会は設けられていない		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0			

保護者への説明等	38	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	定期的な子育てに関する相談はできていない。今後していくように考えている。 送迎時のヒヤリングくらい	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	3	父母の会、保護者会等開催できていない。保護者同士でも共有の場を設けられていない	
	40	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	0	書面により伝えている。 通信等やHP、SNS等に発信することができていない、行事予定や活動概要などは子どもや保護者に発信できている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4	これからの課題。事業所の行事に地域住民は招集できていない	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	保護者に周知できていないが、職員間には周知できていて、訓練もきちんと実施できている	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	定期的ではないが、避難することはできている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	1		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	訓練の実施は年間計画作成を行い、それに基づいて行っている	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	ヒヤリハット事故報告はきちんと現場間で共有でき、再発防止に向けて検討できている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	出前講座実施して共有 虐待防止委員会を設置し、適切な対応が取れている	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0			